

コフナ×Rootella®

水稲(コシヒカリ)フィールド試験 @ 新潟県佐渡市

フィールド試験概要

コフナ(土壌有機物分解)と高濃度菌根菌資材 Rootella® を併用し土壌環境改善と根張り強化の相乗効果を検証

作物 | 水稲 (コシヒカリ)

試験区 | N区: 無処理

R区: Rootella®

C区: コフナ

C×R区: コフナ+Rootella®

調査数 | 各区20連続株

施用 | コフナ: 田植え半年前に土壌へ混和

Rootella®: 育苗時に水希釈散布

比較項目 | 生育・収量・菌根菌定着率を比較



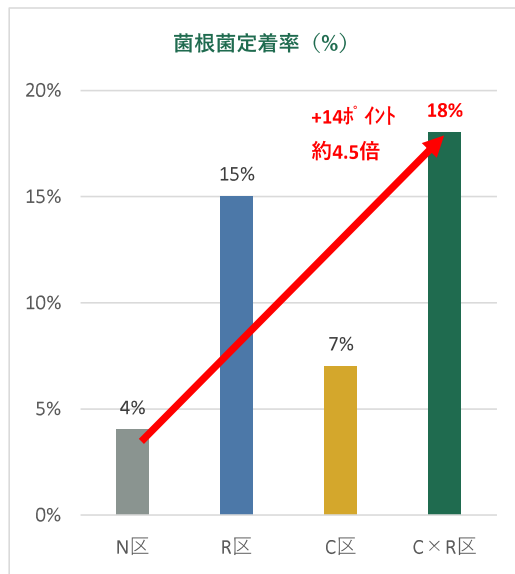
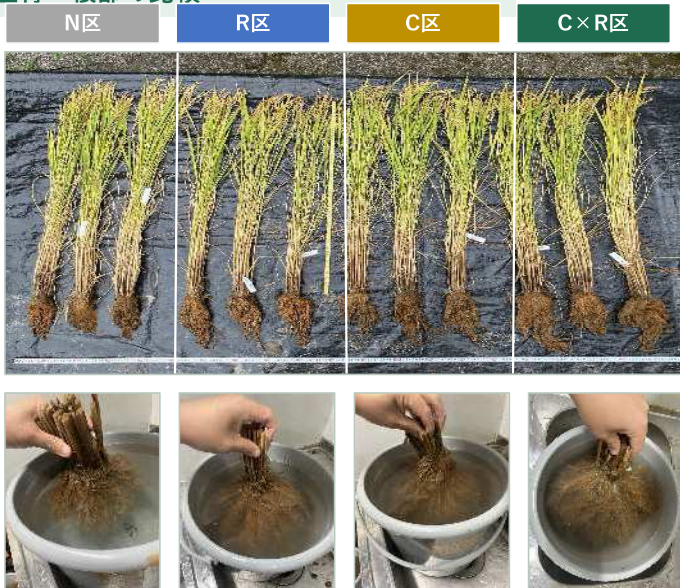
新潟県佐渡市 試験圃場

C×R区 対N区の主要成果		項目	N区	R区	C区	C×R区
有効分げつ数 +28.6%	籾数 +42.8%	全長(cm)	110.2	108.4	110.7	111.9
		有効分げつ数(本)	21	22	24	27
		籾数(全体)	1,209	1,412	1,676	1,727
		籾重(g)	39.7	43.3	53.3	55.7
籾重 +40.3%	菌根菌定着率 18% (4.5倍)	1茎あたりの籾数	57.6	64.2	67.9	63.8
		1粒あたりの重量(g)	0.03	0.03	0.03	0.03
		菌根菌定着率(%)	4%	15%	7%	18%

※ 農林水産省が定める土壌改良剤としての菌根菌資材の基準は、共生率が5%以上である事

※ 籾数・籾重は調査株の平均5株を測定

生育・根部の比較



結果と考察

C×R区が、生育・収量・菌根菌定着率で最も高い結果となった。

対N区: 有効分げつ数 +28.6% / 籾数 +42.8% / 籾重 +40.3%

菌根菌定着率: 18% (N区 4% の 4.5倍)

菌根菌の定着率は、全ての試験区でN区を上回った。中でもC×R区ではN区の約4.5倍という最も多く菌根菌が定着していた頃を示した。この結果により、コフナの土壌有機物分解による肥沃化の働きと菌根菌による根域拡大が相乗的に働き、収量構成要素の大幅な向上に繋がった可能性がある。

※ 各区20連続株。圃場条件・栽培条件により結果は異なる場合があります。

免責事項: 本資料の記載内容は効果を保証するものではなく、関連企業に法的義務をもたらすものではありません。

島貿易株式会社

事業推進部 agri-lab@shima-tra.co.jp